

令和3年度 公社等経営評価シート
(対象期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日)

概	名称	一般社団法人宮崎県酪農公社		所在地	都城市御池町無番地	
	電話番号	0986-33-1816		ホームページ	http://m-chikusan.jp	
	設立年月日	昭和43年8月12日	代表者	平島 善範	県所管部・課	農政水産部 畜産振興課
	総出資額	160,580 千円	県出資額	80,000 千円	県出資比率	49.8%
要	設立目的	県内における畜産農家の乳用育成牛預託に係る哺育、育成及び家畜の能力検定、乳用牛・肉用牛の育成・繁殖等を行うことにより、畜産の近代化を強力に推進するとともに、家畜の生産改良を促進し、もって当該地域の農業生産力の増強と農業者の経済的社会的地位の向上を図ることを目的とする。				
	特記事項					

内容		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
改革工程	①公社等のあり方見直し	(実績)乳用牛共同哺育・育成事業を実施し公共牧場として運営。	(実績)乳用牛共同哺育・育成事業を実施し公共牧場として運営。	(計画)乳用牛共同哺育・育成事業を実施し公共牧場として運営。	
	②公社等の経営見直し	経営・事業運営改善 次期経営改善計画策定 経営改善計画の確実な 実行	(実績)令和3年度を目標とする経営改善計画に基づき、運営改善を実施。	(実績)令和3年度を目標とする経営改善計画に基づき、運営改善を実施。	(計画)令和3年度を目標とする経営改善計画に基づき、運営改善を実施し、令和6年度を目標とする次期経営改善計画を策定する。
		財務改善 単年度黒字化 累積欠損金の削減	(実績)預託サービスの向上と推進活動により、預託頭数が目標を上回ったことにより、収入が増加した。	(実績)預託サービスの向上と推進活動により、預託頭数を確保し、収入増につなげたことで、単年度黒字化が達成できた。	(計画)預託サービスの向上と推進活動により、預託頭数を確保し、収入増につなげ、単年度黒字化を達成する。
		組織等適正化 効率的な組織体制の構築 経営管理技術及び生産 技術の向上	(実績)県外からの外部講師や、畜産試験場の研究員による指導を仰ぎ、技術向上を図った。	(実績)県外からの外部講師や、畜産試験場の研究員による指導を仰ぎ、技術向上を図った。	(計画)施設規模・頭数規模にあった人員配置(組織体制)を行い、更なる効率化を図り、人材育成に努める。
	③県と公社等 の関	人的支援 見直し 運営改善を図るための指 導体制の維持	(実績)月に1回の実績検討会や四半期毎の経営改善チーム会議による経営改善指導を実施。	(実績)月に1回の実績検討会や四半期毎の経営改善チーム会議による経営改善指導を実施。	(計画)酪農公社の経営の自立化の促進を図るために、経営改善チーム会議や実績検討会による継続的な経営改善指導を実施する。
		財政支出 見直し 運営補助金の見直し検討	見直し済み	見直し済み	見直し済み
④情報公開推進	ホームページでの情報公開の充実	(実績)ホームページにより、適宜情報公開を実施した。	(実績)ホームページにより、適宜情報公開を実施した。	(計画)ホームページでの情報公開の更なる充実を図る。	

	(人)	令和2年度			令和3年度				
		合計	県職員	県退職者	左記以外の者	合計	県職員	県退職者	左記以外の者
人的支援	役員数	11	2	0	9	11	2	0	9
	常勤	1	0	0	1	1	0	0	1
	非常勤	10	2	0	8	10	2	0	8
	職員数	17	0	0	17	15	0	0	15
財政支出等	(千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	(千円)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	県委託料	0	0	300	県借入金残高	0	0	0	
	県補助金	2,769	2,769	4,794	県の損失補償契約等に基づく債務残高	0	0	0	
	県交付金・負担金・出資金	0	0	0	県職員人件費(県支給分)	0	0	0	
その他の県からの支援等	宮崎県酪農公社強化育成事業に係る県からの借入金120,000千円 (R2. 4. 1~R3. 3. 31)								

主な県財政支出の内容	事業名	事業内容	令和2年度	令和3年度	種別
			決算額(千円)	予算額(千円)	
①	宮崎県酪農公社運営強化対策事業	酪農公社施設整備等に係る起債償還額の一部助成	2,769	2,769	補助金
②	未来の畜産を担う人材育成事業	酪農公社を働く場兼高度な研修の場と位置づけ、研修型雇用による人材育成への助成	2,025	2,485	補助金
③	優良乳用牛資源活用推進事業	乳用牛整備のため、優良乳用牛における受精卵採卵業務の委託	300	0	委託金
④					
⑤					

実施事業	①預託事業(農家からの乳用牛の哺育、育成預託) ②乳用素牛供給事業 ③生乳生産・販売事業 ④和牛子牛生産・販売事業 ⑤自給飼料生産事業							
	活動指標	指標名	算式(単位)	令和2年度			令和3年度	令和4年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	目標値
		① 預託牛入牧延べ頭数	頭	247,050	248,635	100.6%	255,500	255,500
	② 年間生乳出荷数量	トン	993	1,001	100.8%	868	868	
	③							
指標の設定に関する留意事項								

財務状況	正味財産増減計算書 (千円)			貸借対照表 (千円)		
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	433,615	441,466	441,733	資産	304,821	305,270
	427,533	429,480	434,888	流動資産	122,079	128,127
	6,082	11,985	6,845	固定資産	182,742	177,144
	51,626	1,084	641	負債	445,857	438,170
	9,045	4,862	4,452	流動負債	384,461	379,071
	42,581	-3,778	-3,811	固定負債	61,396	59,099
	48,663	8,207	3,034	正味財産	-141,036	-132,899
	71	71	71	指定正味財産	160,580	160,580
	48,592	8,136	2,963	(うち基本財産への充当額)	0	0
	0	0	0	(うち特定資産への充当額)	0	0
	48,592	8,136	2,963	一般正味財産	-301,616	-293,479
	0	0	0	(うち基本財産への充当額)	0	0
	0	0	0	(うち特定資産への充当額)	0	0
	0	0	0			
	48,592	8,136	2,963			

※千円未満を四捨五入して表示しているため、合計の金額と一致しない場合があります。

財務指標	指標名	算式(単位)	令和2年度			令和3年度	令和4年度	
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	目標値	
			①	当期収支差額	当期純利益	4,326	2,963	68.5%
		※ 令和2年度 実績値の算式	2,963千円					
②	自己収入比率	自主事業収入/総支出額×100(%)	100.9	95.1	94.3%	101.2	101.2	
	※ 令和2年度 実績値の算式	413,444千円/(339,790千円+95,098千円)×100						
③	管理費比率	管理費/総支出額×100(%)	23.7	21.9	107.6%	24.5	24.5	
	※ 令和2年度 実績値の算式	95,098千円/(339,790千円+95,098千円)×100						
指標の設定に関する留意事項		当社の課題は累積欠損金の早期解消であり、平成31年3月に策定した経営改善計画に基づき、当期収支差額の黒字化を指標としている。						

直近の県監査の状況	
-----------	--

総合評価	<p>宮崎県酪農公社の基幹事業である乳用牛育成預託部門について、県内の酪農家への周知活動等により、預託頭数は目標頭数を上回ることができた。そのため、収入を確保することができ、令和2年度は単年度黒字化を達成することができた。また、搾乳部門においては、初産牛の乳量が思うように伸びず、1頭当たり年間出荷乳量が8,261kgと前年を上回ることができず、目標を上回る収入を得ることはできなかった。令和3年度に向けても関係機関と連携し31年3月に策定した経営改善計画を確実に実行し、黒字化を達成する。</p>	<p>県内酪農家への乳用牛育成預託にかかる説明会や、パンフレット等の配付などの周知活動の結果、預託頭数は、令和元年度に引き続き目標頭数を確保することができた。また、県外からの外部講師による人工授精等の受胎率向上の技術指導や、畜産試験場の研究員による定期的な技術指導により、職員の飼養管理技術も向上している。令和2年度も令和元年度に引き続き単年度黒字化を達成できたので、引き続き令和3年度についても、平成31年3月に策定した経営改善計画を確実に実行し、単年度黒字化を達成する必要がある。</p>
	<p>公社等自己評価</p> <p>評価 (A.良好、B.ほぼ良好、C.やや課題あり、D.課題多い)</p> <p>改革工程 B 活動内容 B 財務内容 C 組織運営 B</p>	<p>県所管部課二次評価</p> <p>評価 (A.良好、B.ほぼ良好、C.やや課題あり、D.課題多い)</p> <p>改革工程 B 活動内容 B 財務内容 C 組織運営 B</p>
	<p>目標達成度</p>	<p>公社等改革推進委員会三次評価</p> <p>活動内容については、説明会の実施等により預託頭数では目標を達成し、生乳出荷量も目標を達成しており評価できる。財務内容については、経常黒字を維持し、管理比率及び自己収入比率も達成又はおおよそ達成しており、一定の評価ができるが、債務超過額は、前年度より圧縮したものの、依然として約1億3千万円となっており厳しい経営状態が続いている。平成31年3月に策定した経営改善計画(令和元年度～令和3年度)に基づき、預託事業の拡大等による収入確保に努め、更なる経営改善を図ることが求められる。</p>